

マスクの正しい装着方法(半面形)

半面形の標準的装着手順



しめひもを後頭部に安定するようになります。
しめひもの留め具を持ち、左右均等に引きながらマスクを顔面にあてます。
首の後ろで留め具を留めます。
しめひもの長さを調整します。
装着したら、マスクを上下左右に動かし、安定する位置にします。

■一例ですので必ず製品の取扱説明書に従ってください。

シールチェックの方法

シールチェックはマスクと顔面が密着しているかどうかを確認する方法です。マスクを着用したら必ず実施してください。

陰圧法

フィットチェッカー等を使った方法



フィットチェッカー等を用いて吸気口をふさぎます。息をゆっくり吸って面体と顔面の間から空気が面体に流入せず、面体が顔面に吸いつけられることを確認します。

シールチェック機構で行う方法



マスクに内蔵されたシールチェック機構を操作し吸気口をふさぎます。息をゆっくり吸って面体と顔面の間から空気が面体に流入せず、面体が顔面に吸いつけられることを確認します。

陽圧法

使い捨て式防じんマスクの例



使い捨て式防じんマスクはマスク全体を両手で覆い、息を吐きます。使い捨て式防じんマスクと顔の接触部分から息が漏れてないか確認します。取替え式防じんマスクはフィットチェッカー等を用いて排気口をふさぎます。息を吐いて、空気が面体内から流出せず、面体内の呼気が滞留することによって面体が膨張するかどうかを確認します。

■一例ですので必ず製品の取扱説明書に従ってください。

フィットテスト

継続して行う屋内の溶接作業、第三管理区分の作業場でマスクではなく露対策をする場合、リスクアセスメント対象物質のばく露対策をマスクで行う場合には、フィットテストの実施が厚生労働省より示されています。フィットテストとは着用者がフィットするマスクを選んでいるか、使用しているかを確認する方法です。方法はJIS T 8150:2021で規定されており、実施には専用の機器、器具が必要です。詳しい情報は日本呼吸用保護具工業会会員各社にお問い合わせください。

定量的フィットテスト



定性的フィットテスト



フィットテストの方法は右のマニュアルに詳しく記載されています。以下のQRコードからご購入いただけます。



知っていますか？

マスクにとって

重要な

選択

使用



選択

マスクは有害環境に対応できる種類を選ばないと効果がないことを知っていますか。

正しい選択例

有害環境に対応する防毒マスクの吸収缶の種類を選択している

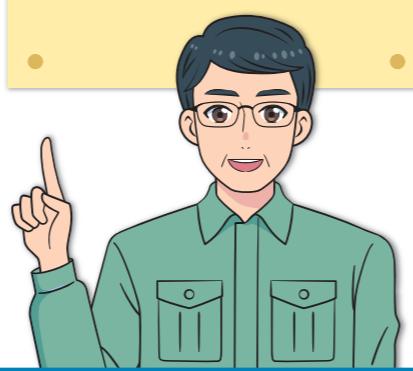


誤った選択例

有害環境に対応する防毒マスクの吸収缶の種類を選択していない



- 防毒マスクの吸収缶は有毒ガスの種類に応じた多くの種類があります。作業環境中の有毒ガスの種類、濃度を確認して適した吸収缶を選びましょう。



使用

マスクは正しく使用しないと効果がないことを知っていますか。

正しい使用例

マスクのしめひもが適切な張り具合に調節しており、マスクが顔面に密着している状態で使用した場合



誤った使用例

マスクのしめひもが緩んでおり、マスクが顔面に密着していない状態で使用した場合



- マスクを顔面に密着するように装着しないと顔面とマスクのすき間から有害物質が漏れ込みます。マスクを着用したら必ずシールチェック（密着の確認）をしましょう。



マスクの適切な選択と使用は厚生労働省の通達で示されています。

作業環境に応じたマスクの選び方、マスクの正しい使用方法や留意点の情報は厚生労働省の通達「防じんマスク、防毒マスク及び電動ファン付き呼吸用保護具の選択、使用等について基発0525第3号 令和5年5月25日」で示されています。右のQRコードから確認できます。



Q1

マスクは誰が選ぶのですか？

A1

保護具着用管理責任者が選びます。



Q2

保護具着用管理責任者とは何ですか？

A2

保護具の選び方、使用方法、保守を管理する責任者です。保護具を使用する事業場では、法令等で選任が義務となっている場合があります。



Q3

P-PAPRとG-PAPRって何ですか？

A3

P-PAPRが粉じん用、G-PAPRはガス用のマスクです。どちらも電動ファンによるマスク内への送風があるため、呼吸が楽で、安全性が高いマスクです。



Q4

このマスク私に合っていますか？

A4

フィットテストで調べてみましょう。

※詳しくは次頁のフィットテストをご覧ください。



いろいろあるんですね。

本紙の選択と使用はろ過式呼吸用保護具を想定しています。ろ過式呼吸用保護具は酸素欠乏環境や直ちに生命に危険を及ぼすような環境では使用できません。

マスク（呼吸用保護具）には防じんマスク、防毒マスク、P-PAPR、G-PAPR、送気マスク、自給式呼吸器といった種類があり、また、様々な性能区分や形状のものがあります。マスクにより、ばく露対策をする場合は呼吸用保護具メーカーのカタログを参考にし、効果のある製品を選択する必要があります。

また、マスクは正しく使用しないと効果が発揮できません。使用する製品の取扱説明書やガイドブック等を参考にし正しく使用する必要があります。

マスクの適切な選択と使用のお問い合わせは

日本呼吸用保護具工業会会員会社各社へ

<https://www.japanmask.jp/member-list.html>

